



60周年記念事業

みんなでつくる 日野の宝マップ ～三中地区～

日野に住むみんなから教えてもらった「日野の宝」。
あなたはどのくらい知っていましたか？
自分の住む地区を改めて見渡すと、他にはない面白いものが転がっているかもしれません。

1～10については参加メンバーが記事で紹介しています。
裏面を見てチェックしよう！

動画チームの作品はこちら



【程久保川沿いの四季】
程久保から百草まで市内を流れる程久保川。春には桜も綺麗で四季折々の姿が楽しめますよ♪

【夜の多摩モノレール】
程久保川沿いを走る夜のモノレールはまるでネコバスみたい。多摩都市モノレールは今年「日本夜景遺産」にも登録されました！



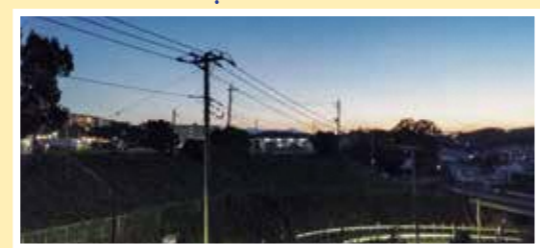
【アポロ広場】
百草団地のシンボルとなっている広場。百草団地が月面着陸と同じ年に完成したことになんて、中央には宇宙船アポロ号をモチーフにした遊具が。子ども達のお気に入りの遊び場所。



【三中地区アクションプラン実行委員会】
小さなことからつながり、安心できる地域をつくろう！と活動する市民有志の団体。簡単防災訓練やスマホ教室を実施したり、老朽化により閉鎖した百草台小学校・百草台コミュニティセンターのお別れ会も地域の方と一緒に開催しました。

【地区トピックス】

高齢化率が高めな三中地域ですが、実は子ども・親・おじいちゃんおばあちゃんという三世帯世帯が多い地域でもあります。また明星大学や帝京大学などの学生も地域づくりに関わったり、三中卒業生が地域にお祭りを作ったりと、いろんな世代が地域に出て活発に活動しているエリアなのです。



【高幡台からの景色】
三中地区は坂が多い！しかし、坂の上から見る景色は東京とは思えないほどきれいです。富士山もよく見えますよ！



●多摩動物公園

明星大学
旧正門前の坂

●明星大

●パンツの穴坂

3

2

7

3

8

2

9

●日野三中

10

3

●日野第三中学校への道

5

●夢が丘小

4

●程久保駅

3

1



富士山
VIEW
スポット

1

百草団地の
給水塔

●七生緑小

●百草台自然公園

3

●高幡ガスト坂

●京王百草園

●三沢中

●潤徳小

高幡不動駅

百草園駅

1 湯沢福祉センター、 ゆざわ・ここからネット



高幡台団地と百草台団地の間の谷にあり、坂を下れば川崎街道。上れば多摩療護園を経て大塚住宅に至る。設立当初から高幡台団地・百草台団地・程久保・三沢地区住民の憩いの場であり集いの場。集会所のほかには舞台や音響施設もあり、年間を通して様々なイベントが開催される。またBI階の「ゆざわここからネット」では『ここシネマ』『リズム体操』『レクリエーション吹き矢』が人気。外庭では「寄せ処ひの」が焚火を囲んでの集会やコーキングを新しい集いの場として提供している。
「湯沢福祉センター」と「ゆざわここからネット」の開館日は、日野市HPを参照のこと。
(mas.)

2 程久保の歴史 (秋葉大権現社)



三中の大半を占める程久保の名の由来は諸説あるが、土を保たないと農作物が育たない窪地(保土窪)からといわれている。その歴史は古く縄文早期から後期にかけての遺跡が造成時の多摩動物公園や高幡台団地から出土し、中世では平山季重が九郎義経をかくまったとされる「かくれ穴」や、「九郎殿台(くろどん台)」の地名が残る。江戸時代初期は鷹の生息地があったことから幕府直轄領であり免税もされていた。昔話や伝説も多く、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)によって世界に広まった勝五郎再生話(ほどくぼ小僧)の舞台でもある。高幡図書館から入る旧道沿いには石仏や神社があり、中央大学構内を経て八王子中野へと続く。中でも神明神社は程久保の鎮守として、秋葉大権現は上程久保の火伏の神として信仰されている。歴史資料や生活資料に関しては、教育センター(旧高幡台小学校)内にある「日野市立郷土資料館」を訪見するとよい。
(lスイ)

3 三中地区の坂



三中地区の坂は丘陵部の頂上を切り開いて造成された住宅地と、程久保川が削った谷底や平野部に

ある幹線道路へと短絡するために作られている。そのため急坂が多く、もとは沢であったところもある。

・おすすめ坂5選

- 1 明星大学旧正門前の坂
明星大学北交差点～明星大学 程久保門までの坂。交差点から200mが特に急勾配。急がば回った方が楽。
- 2 バンツの穴坂(幹I-5号線)
中程久保橋～鹿島台地区の頂上までを結ぶ坂。1984年、映画『バンツの穴』のロケが行われた坂道。山本陽一さんがママチャリで激走した。現在は北野街道、新川崎街道からの抜け道として使われていて交通量が多い。
- 3 神明神社の横の坂
神明坂とも呼ばれ神明神社の横から武蔵野台地区結ぶ坂。この地域を代表する激坂として知られている。
- 4 高幡ガスト坂
ガスト高幡店前～百草台水道塔。上るのもきついが下りるのも怖い。場所はわかりやすいので是非。
- 5 日野第三中学校への道
程久保駅～日野第三中学校
他にもいい坂はあるが三中地区なので。程久保駅から京王動物園線のトンネルを抜ける。目的地までのルートが複数あり、どこを通るかで難易度が変わる。とにかく上を目指して進むと頂上に三中があるが方向音痴は要注意。
まるで山城を攻略している錯覚にとらわれる。
(lスイ)

6 百草団地 ふれあいサロン



百草センターバス停の目の前にあるふれあいサロン。看板が丸太でできていて重さの関係で常時店前に出ている。2008年4月に、地域のふれあいと交流の拠点づくりを目指し日野市のふれあいサロン1号店として開設。地域に必要な場所として多い時には20名程度の利用者がいるそうで、サロン内は広くおしゃべりを楽(お姿が)印象的。一見さんもすぐに馴染むことができ、団地外のお客様も大歓迎とのこと。大きなイベントはこのところできていないが、絵や写真の展示会(訪問時は色鉛筆絵画の展示をしていた)スマホ教室など定期的に行っている。
開設日:平日11:00～15:00
入室料:100円 ※土日利用可能。
土日利用希望の際は開設日に直接相談するか、百草団地自治会まで。
(mas.)

7 杉の子広場 (武蔵野台自治会防災会)



神明神社の裏手の坂を上って50m位直進したところにある。自治会内に駐車場や公園がなく避難所まで坂を下り上らなければならない。そのため自治会内に多目的利用できる広場が必要不可欠であった。そこで老朽化したアパートを解体(家主の協力を得て跡地を使い)広場を住民が手作りした。普段はライオンの鳴き声が聞こえるほど、閑静な住宅街で花壇には里芋が植わったり、四季折々の花が咲いたりなど憩いの場でもある。
(rainbringer)

8 明星地区つながり の家アムール



2018年にメイン通りに面した空き家を利用して開設された明星地区の居場所。当初は明星地区老人会の「ニ水会」が第2週水曜日のみ集会だけでは足りないため、他の曜日でも集まれるようにしたいと市に相談したのがきっかけ。現在は乳幼児から高齢者までが利用する多世代の交流がされており、主催イベントや地域のお祭りへの出店を積極的にやっている。明星大学生とは上記イベントやワークショップ・庭先を利用したコミュニティガーデンなどで協力体制がとられており音楽系ボランティアサークルなどを招いてミニコンサートを行ったこともある。
開設日:月・火・木・金 11:00～15:00
入室料:100円 (mas.)

4 夢見広場 (ほどくぼ駅周辺を考える会)



程久保駅から山側に向かい京王動物園線のトンネルを抜けた先の三叉路の先端にある三角広場。当初は自治会内に公園がなかった下程久保自治会が、防災倉庫を置くために市から借り受けていた。2018年に自治会で集まれる居場所設置のため、当時の同自治会長が『ほどくぼ駅周辺を考える会(通称:ほど会)』を発足。夢が丘小・日野市・ほど会・下程久保自治会が協力し、通学路内に地域と触れ合える場として2020年に三角広場を改良し現在に至る。ほど会が制作したベンチへのペイントや、広場命名・人形作成・利用者への注意書きなどを、夢が丘小の生徒が総合授業の一環として行った。維持管理は下程久保自治会が行っており、毎年ほど会のラリーイベントで利用される。夢見広場以外にも程久保1丁目入り口付近に「友情広場」や、程久保駅からの通学路の坂に動物の足跡のペイントを施した「夢見坂」がある。
(lスイ)

5 高幡台団地 空間活用 プロジェクト



2011年の東日本大震災の後、高幡台団地の73号棟は基礎地盤の脆弱性と老朽化により取り壊され空き地となった。当初、地盤強化後に公民館などの複合福祉施設ができる予定であったが、様々な要因により中断し現在に至る。高幡台団地全体の価値向上と空き地の有効利用を鑑みUR・日野市・高幡台団地まちづくり協議会とて、主に73号棟跡地にイベントを行う団体として「高幡台団地空間活用プロジェクト(代表:栗原達也)」が発足。2022年3月に第1回「はらっぱアートフェスティバル」を開催した。その後2022年11月に「第2回はらっぱアートフェスティバル」を豪雨の中74号棟を利用し通常通り開催した。このイベントには団地入居者の外国人と協力し文化や民族衣装で交流を行っている。また2023年5月に移動動物園とコラボし「はらっぱどうぶつフェスティバル」が開催された。団地のイベントとして可能性を見出し、今後注目の団体ともいえる。(rainbringer)

9 ほどくぼんおどり (ほどくぼんおどり 実行委員会)



2023年、程久保地域のお祭りを復活させた団体。主に三中OBや明星地区の有志で構成されている。23年8月中旬に日野第三中学校の校庭で開催され、地域ボランティア・中学生ボランティア・消防団などの協力のもと、明星大学 鼓蝶の演奏から始まり盆踊り・抽選会を経て最後は火花で締めくくった。キッチンカーや屋台のお陰で当初予想よりも来場者数が増えたものの、緊急車両も来ず第1回という手探り状態ではあったが成功を収めたといえる。
(mas.)

10 ウォークラリー (ほどくぼラリー)



気温も落ち着きだす11月下旬。「ほどくぼ駅周辺を考える会」主催の『ほど会ラリー』が開催される。テーマは毎年違うが程久保地区のみで構成されていて、郷土資料館をスタートして6時間程度で踏破することを目的としている。郷土資料館と協力体制をとっており、参加すると程久保の歴史や地形がわかる仕様となっている。なぜか開催日当日は晴れたことがなく、あらゆる意味で過酷なラリー。範囲内の自治会や地域ボランティアと参加者との交流が見られるが、最近は範囲を広げすぎて参加者のうち8割がリタイアすることが悩みの種でもある。
(lスイ)